

令和3年度(2021年度) 東京大学三崎臨海実験所 公開臨海実習実施要領

東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所(三崎臨海実験所)では、以下の要領で公開臨海実習を開催いたします。皆様の御参加をお待ちしております。

なお、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況によっては、予定が変更となる可能性があることを予めご承知おき願います。

開催地： 国立大学法人東京大学 大学院理学系研究科附属臨海実験所
〒238-0225 神奈川県三浦市三崎町小網代 1024
URL: <http://www.mmbs.s.u-tokyo.ac.jp/>

実習題目： 特別臨海実習 (Aコース：海洋動物の多様性と系統学)

単 位： 1単位
(東大理学部以外の学生に対しては単位認定できませんが、代わりに受講証を発行します)

開講期間： 2021年8月17日(火)から8月21日(土)(4泊5日)

対象学生及び定員： 学部1～3年次主体 約10名

指導教員： 三浦 徹(東京大学・大学院理学系研究科・教授)
吉田 学(東京大学・大学院理学系研究科・准教授)
黒川 大輔(東京大学・大学院理学系研究科・助教)
岡西 政典(東京大学・大学院理学系研究科・特任助教)

実習内容： **Aコース：海洋動物の多様性と系統学**
世界的に見て豊富な生物相を有する三崎臨海実験所周辺海域において実習を行う。磯採集した動物を実験室に持ち帰り、詳細に観察し、外観のスケッチを行い、文献等を参考にして同定する。また、採集・観察した動物の学術標本の作製・DNAの抽出を行い、分子マーカー配列に基づく分子系統樹を作成する。これらの実習によって多様な生物、特に後生動物のボディプランをほぼ全て網羅する海産動物に親しみを持つと同時に、それらの分類学・形態学・系統学・生態学の導入部分を勉強する。実習にあたっては、生物の解説や、基本的な解析は、極力自分で持参したデバイス(ノートPCが望ましい)を通じて行う。

所要経費： 15,000円程度(実習全期間の宿泊費・食費を含む)

申込方法： 登録及び連絡の際の間違い防止のため、以下の2段階での申込をお願いいたします。

- 1) まずメールでの予備登録をお願いいたします。
メールのタイトルを「公開臨海実習参加希望」として、本文中に
 - (1) 氏名
 - (2) 所属（大学・学部・学科名）と学年
 - (3) 連絡可能な電子メールアドレス（出来るだけPCのものでお願いします）を記入の上、office@mmbs.s.u-tokyo.ac.jpまでお送り下さい。
この際、可能ならば連絡先となっているアドレスから送信していただけますと助かります。
- 2) 以下の書類を作成の上、東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所・公開臨海実習担当宛に、
郵送またはファックス（FAX:046-881-7944）でお送り下さい。
 - ・公開臨海実習受講願（別紙様式）
 - ・学生教育研究災害傷害保険等の加入を証明するもの（領収書・証書等）
（大学で傷害保険に強制加入している場合は不要）

申込締切： **7月9日（金）**

- 注意事項：
- ※ 参加希望学生は必ず学生教育研究災害傷害保険（もしくはそれに相当する保険）に加入してください。
 - ※ 2022年3月開講予定の特別臨海実習Bコースにつきましては、2022年1月頃に別途通知いたします。
 - ※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策のため、実習の実施に際して参加者にはいろいろとお願いや活動の制約がかかること、また蔓延状況によっては直前であっても実習を中止する可能性があることを、予めご承知おき願います。
 - ※ 不明な点、質問等がございましたらメールにて、三崎臨海実験所・事務室（担当:小森）（e-mail: office@mmbs.s.u-tokyo.ac.jp）までお問い合わせ下さい。